

1 沼田市児童数の変化について

ただいまの後藤^{ひろまさ}大将議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市児童数の変化についてであります。昭和57年まで、沼田東小学校の児童数は、千人を越えていました。それから、34年経った今年、平成26年5月1日の沼田東小学校の児童数は、298人になりました。こんなに児童数が減ったのは、後藤議員がおっしゃる少子化が大きな原因と考えられます。現在66歳の方が生まれた昭和23年頃は、一人の女性が一生のうちに生む子どもの数は、全国で平均4.32人でした。それが、平成24年には1.41人になりました。沼田市についても平成24年は1.49人になっています。

児童数が減る他の原因としては、子どもを生んで育てる若い人が、市外に引っ越して減っていることも考えられます。

平成26年5月1日現在、沼田市の児童数は2,641人です。沼田市に住んでいる現在の小学校入学前の子どもの数を基にして、児童

数を予想すると6年後は、2, 138人になり、そのまま減り続けると、10年後の平成36年には、1, 802人となる見込みです。

そのように、児童数も含め市の人口が減って地域の元気がなくならないようにするために、沼田市では、子どもを生んで育てやすい町にしようとして子育ての手助けをしたり、若い人が沼田市に住んで働ける場所を増やしたりする努力をしています。

児童のみなさんには、沼田市に住んでくれる人が増えるように、もっと住みやすい町にするアイデアを出してもらったり、沼田市に来てくださった方にいい町だと思っていただけるように、あいさつや親切なことをしたりしてほしいと思います。

また、大人になっても沼田を愛し、沼田に住んで、さらに魅力ある町にしようとして努力してくれるように、今住んでいる地域や沼田のよさについて理解を深め、もっと沼田のことを大好きになってほしいと思います。

以上申し上げまして、後藤^{ひろまさ}大将議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

